


りんご輸出チャレンジャー報告（外崎 裕一）

<p>プロフィール</p>	<p>2013年に企業を退職し、就農しました。</p> <p>約1.6haのりんご園とジュース加工場を家族で経営しています。</p> <p>生産・出荷するだけの農家では今後の未来はないと考え、直接消費者にお届けすることを主体とした経営を目指しています。</p> 
<p>経営の特徴</p>	<p>「ふじ」を主体にした品種構成で、「ふじ」、「サンふじ」を多く栽培しています。近年では食べる人のニーズに合わせた品種も増やしています。</p> <p>自社の加工場を持ち、りんごジュースの加工・販売のほか、地元りんご農家さんからの加工委託も行っています。</p>
<p>輸出取り組みの抱負</p>	<p>海外の「アップル」と青森の「りんご」はまったく違うものであり、「りんご」は世界で受け入れてもらえると思っています。</p> <p>これからも青森の「りんご」の品質を落とすことなく、お届けできるように努めていきます。</p>
<p>現在の作業状況</p>	<p>「ふじ」、「サンふじ」の果実に日が当るようにりんごを人の手で一つ一つ回しています。この作業をすることで色ムラのない、赤いりんごを作ることができます。</p> <p>日々の園地作業では、味だけではなく、見た目でも美味しいりんごを生産することに努めています。</p>
<p>今年のリんごの作柄</p>	<p>「早生ふじ」は、取引先から「今年は糖度が高い」と評判も上々です。これから収穫期を迎える「サンふじ」も期待してください。</p>